

## 主に「健康な心と体」が育った実践

### 活動名 みんなでもっとおもしろくしよう -巧技台遊び- (10月)

#### 保育者の願い(ねらい)

- ・巧技台を使いながら多様な動きを経験し、元気な体づくりをする。
- ・巧技台遊びを通して自ら進んで体を動かし、進んで取り組んだり挑戦したりする意欲を育てようとする。
- ・自分のやりたいことを言葉で表して、自分の思いを相手に伝えようとする。
- ・友達と協力して楽しい巧技台の場を作り、友達と一緒に活動する満足感を味わう。

#### 援助のポイント

- ・グループごとに「ホワイトボード・巧技台マグネットパーツ」を用意し、グループで「巧技台を使ってどんな場にするか」を視覚情報を基に、お互いの願いや思いを表現できるようにする。
- ・いろいろな渡り方や安全な降り方などをしている子供を見付け、そのやり方などを全体で共有し、動きのバリエーションが増えるようにする。
- ・巧技台の中に「ゴム紐ハードル」を取り入れ、自分のできる動きや、取り入れてみたい動きの場を作ることができるようにする。
- ・巧技台遊びの中で、子供たちができるようになったことや、頑張っていることを認めたり、共に喜んだりする。



#### 環境構成の工夫

- ・安全に活動ができるよう、グループごとの巧技台の間隔を十分確保する。
- ・スタート地点のケンステップで前の友達の番が終わるのを待ち、「いいよー！」と言われてからスタートするという約束をつくる。
- ・グループごとに考え、工夫してつくった巧技台の場をお互いに体験する時間を設け、多様な動きや難度の高い動きにも楽しんで取り組めるようにする。
- ・巧技台の準備や片付けが安全で素早くできるように子供が動かしやすいように並べ、配置場所に写真を掲示する。



#### これまでの経緯

- ・運動会や保育参観で巧技台で活動する様子を発表した。
- ・巧技台でいろいろな動きをして遊んだ後、「年少組さんを招待しよう!」と呼びかけて、どんなコースをつくとよいか考えた。自分たちの遊びの経験を基に、「これだと年少さんには難しいかな?」と話し合いながらコースづくりを考えることができた。
- ・保育者が「ホワイトボード・巧技台マグネットパーツ」で表したとおりに作った実際の巧技台のコースを見た。



## 当日の活動内容

- みんなで準備運動をする。
- グループごとに「ホワイトボード・巧技台マグネットパーツ」を使いながら、どのような巧技台の場にするか話し合う。  
（「階段入れる?」「ここにマットを置いて…」等）
- グループごとにホワイトボードを参考にしながら協力して巧技台の場作りをする。保育者は、安全に気を付けて準備ができるよう声をかけたり手伝ったりする。
- 巧技台の場作りができたグループから巧技台遊びを始める。
- 全グループの準備ができれば、グループごとに今日作った巧技台の場についてホワイトボードを示しながら紹介をする。保育者はその巧技台の場のおもしろさや良さがみんなに伝わるよう、話の補助を随時行う。
- 自分たちで作った巧技台の場だけでなく、友達の作った場も含め、フロア全体を使って遊ぶ。保育者は安全に巧技台遊びができるように、補助をしたり、約束（ケンステップからスタート・巧技台の終わりまで着いたら「いいよー」と声をかける等）を守れるよう声をかけたりする。
- 保育者がクラス全体に広めたい動きが見られた時には、全員を集めて、その動きを紹介する。
- グループごとに安全に気を付けながら協力をして片付けをする。



## 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の表れ

- 様々な巧技台を組み合わせた場でいろいろな動きをして活動したり、これまでできなかったことにめあてをもって取り組んだりする姿が見られた。 （健康な心と体）（自立心）
- 様々な巧技台でより楽しい場を作るためにグループの友達に自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして話し合っていた。 （言葉による伝え合い）（豊かな感性と表現）
- 巧技台の場づくりをする際に、いろいろな形と大きさのある「巧技台マグネットパーツ」をホワイトボードに貼っていた。 （数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚）
- いろいろな巧技台を協力して準備したり、片付けたりした。 （協同性）



## 小学校教育とのつながり

- 巧技台でいろいろな動きをして遊ぶことは、体力の向上や、体育における技能の習得（器械運動等）につながります。
- 巧技台を模したマグネットをホワイトボードに貼ったり、それを基に話し合ったりすることは、小学校の学習（形づくり・算数的活動等）につながります。
- 巧技台遊びを通じて、ルールを理解し守ろうとする姿は、道徳性や安全意識の育成につながっています。

